

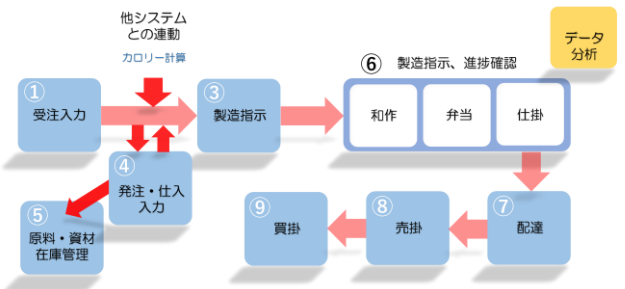
食における地域産業活性化のためのソフトウェア開発

取組概要

■事業概要

当社は弁当・仕出し料理の製造及び配達事業を行っている。
販売管理、発注・製造、配達、請求管理がそれぞれ独自のシステムで運用されており、重複での入力業務など事務量も膨大であった。また、弁当や仕出し料理、自社商品への地元農産物の利用を増やしていきたい考えがあり、取引先が増えることが予想され、仕入や在庫管理が煩雑となる課題を抱えていた。
課題解決を図るため、システムの開発・導入により業務管理の一元化を図り、加えて、工場にタブレット・モニターを設置し、現場でリアルタイムの情報入力をできるようにした。

【システム全体図】



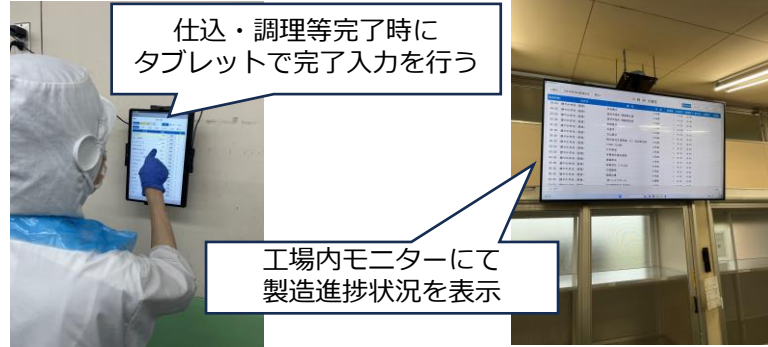
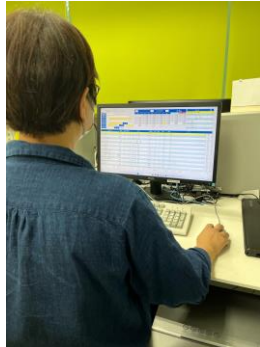
■システムの概要

本システムは「受注→発注仕入・在庫→製造指示→配達→売掛・買掛」を一連で管理。これまで各担当者毎でしか判らなかった業務や進捗状況が共有化された。
受注情報を入力した際、商品毎・数量に応じ自動で必要な材料が算出され、仕入を起こす際に在庫を差し引いた発注が行える仕組みとし、仕入・在庫管理の効率化を図った。

■導入後の状況

受注から製造、配達、売掛管理を一元化したことにより重複での入力作業が大幅に削減され、時間外勤務の削減。作業情報がリアルタイムで共有され、進捗の見える化を実現。

【事務所での受発注業務】 【工場内での入力作業】



得られた効果・今後の課題

- 効果
 - ・ 仕入を本システムに則った発注の仕組みに変更。材料費率削減により粗利率改善。
【材料費率削減効果】直近3ヵ月28.4% (前年比▲0.9%)
→ 1ヵ月当たり約50万円削減。
 - ・ 従来複数のシステムを利用していたが、本システムに一本化。
重複での作業が減少したことにより作業時間削減。
【時間外勤務削減効果】直近3ヵ月 前年比▲115h ※本社のみ
- 今後の課題
 - ・ 製造商品の種類(弁当の中のアイテム等)が多岐に亘るためシステム登録商品の種類及び生産工程が煩雑となっており、商品の集約化を図っていく予定。
 - ・ 材料の種類が多く、在庫管理の精度を更に高めていく必要あり。
 - ・ 地元農産物の使用量を増やすため、地元農家との連携を目的に「農家生産予定」を野菜毎に入力する項目を設定。規格外野菜の直接仕入れを徐々に行っているが、今後商品開発も加速させ更なる付加価値向上に努めていく必要あり。

【活用事業】
令和3年度
ものづくり産業デジタル技術導入助成金

企業概要

株式会社益田クッキングフーズ

設立：昭和42年2月
資本金：3,000万円
従業員：180名
所在地：島根県益田市安富町1105番地

- 健康食食品加工製造
弁当/仕出し料理の製造販売、配達
学校給食/企業社食/委託製造管理 など